

第8回家庭系ごみ専門部会
議事録（概要）

- 1 開催日時 平成30年4月27日（金） 14：30～15：20

- 2 会 場 707 会議室

- 3 出席者
 - （1）委 員・・・7名
山谷部会長、曾我委員、大矢委員、加藤委員、中谷特別委員、
八木特別委員、柳下特別委員
 - （2）事務局・・・7名
清田経済環境部長、谷澤経済環境部次長、小川環境課長、
吉沢課長補佐、倉橋資源循環係長、音道主事、三村非常勤特別職

- 4 傍聴者 2名

- 5 議 事

最終答申（案）に対する整理について

- 6 議事概要 以下のとおり

発言者	発言要旨
部会長	<p>前回の専門部会では、自治会説明会の主要意見に対する考え方を整理し、中間答申の方向性を根本的に変えることはないと思統一が図られた。</p> <p>議題の「最終答申（案）に対する整理について」に関して、事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>～資料に基づき説明～</p>
部会長	<p>自治会意見を最終答申にどのように反映させるか委員の皆さんの意見をお伺いしたい。</p>
委員	<p>減免対象者や対象品目については条例で定めるのか。</p>
部会長	<p>条例（規則）などに明記する事項となり、一般的には庁議にかけ、議会からの議決をもらうという手続きになるのではないかと。</p> <p>その他、袋の金額や種類等についても条例（規則）などで定めることになると思われる。</p>
委員	<p>消費者の立場からすると有料化するかどうか大きい。上下水道と同じように特別会計にすると減量効果が分かりやすく、意見も変化してくるのではないかと。</p>
部会長	<p>事業コストに見合う収入が得られる場合は特別会計扱いとなる。</p> <p>ごみ処理手数料は負担割合が一部のため、特別会計は採用されていない。手数料収入を特定財源とすることで用途を明確化する方法が一般的であり、約8割の自治体が特定財源としている。</p> <p>その他の事例として、基金運用して施設建設の積立金としている自治体もある。</p>
委員	<p>透明化されたものが報告されると納得しやすい。</p>
事務局	<p>収入の用途の明確化については自治会意見でもいただいているため、有料化した場合には、広報等でお示しする予定である。</p>
部会長	<p>今後、これらの意見を踏まえた最終答申の作り込み作業に入ること</p>

	になる。
委員	最終答申に関しては、専門的な立場の山谷部会長と事務局で素案を作成していただき、次回お示ししていただいて意見をもらえればと思うがいかがか。
委員	～異議なし～
事務局	ご提案をいただいたので、最終答申の素案を作り込みさせてもらいたい。素案については事前送付させてもらい、次回の専門部会において最終答申に反映させるかも含めて、再度ご審議いただきたい。
部会長	それでは最終答申の素案を作成し、事前に送付させていただく。 以上で本日の審議を終了とする。